

エコアクション21



環境経営レポート2025

(活動期間 2024年10月～2025年 9月)



2025年 12月 15日 発行

辻鐵鋼株式会社

【はじめに】

辻鐵鋼株式会社は、鉄鋼を中心にした建材製品、空調部材、防水部材等の開発・製造・販売を行うと共に、亜鉛鉄板を中心とする素材販売を行っている。企業として、全ての事業活動が地球環境問題に関わりがあるとの認識に立ち、環境保全に貢献できる事業活動を推進・継続することが、当社の社会的使命と自覚し、積極的に環境保全に取り組んでおります。全事業所において月次実績を基に定期委員会の開催により、継続的に活動を行っております。

辻鐵鋼株式会社

代表取締役社長 辻 博正

目次	P-1
1-1 事業活動の概要	P-2
1-2 事業活動の概要	P-3
2-1 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日	P-3
2-2 EA21推進体制	P-4
3 環境経営方針	P-5
4-1 環境活動実績(過去3年間)	P-6
4-2 環境経営目標 (<small>全社負荷低減3年計画／事業所別21年度実績・22年度目標</small>)	P-7
5 主な環境経営計画・実績	P-8
6 環境活動実績	P-9
7-1・2・3 環境経営計画の取組結果とその評価(各事業所)	P-10~12
8 環境関連法規への違反・訴訟の有無	P-13
9 代表者による全体の評価と見直し、指示	P-14
10 次年度以降環境経営目標	P-15

1-1 事業活動の概要

(1) 会社概要

事業所名 辻鐵鋼株式会社
代表者 代表取締役社長 辻 博正
環境管理最高責任者 代表取締役社長 辻 博正
環境管理統括事務局 生産本部長 池田 潤 ju-ikeda@tsuii-t.co.jp

(2) 所在地

- ①本社 〒130-0001
東京都墨田区吾妻橋1-16-11
TEL:03-3624-3611 FAX:03-3624-6267
- ②豊橋工場 〒441-8074
愛知県豊橋市明海町33-14
TEL:0532-25-5921 FAX:0532-25-5926
- ③仙台工場 〒981-1523
宮城県角田市梶賀字高畑北296-2
TEL:0224-63-4811 FAX:0224-63-4822

(3) 事業活動 (=エコアクション21認証・登録範囲) 鋼板製住宅部材の加工及び販売

素材

- ・ 素材メーカーと連携しお客様ご要望を実現します
- ・ 表面処理鋼板、塗装鋼板、ステンレス鋼板
アルミ形材、ダクト材料、各種鋼材
- ・ コイル材料、スケッチ材



本社

加工

- ・ お客様ご要望【品質・納期・コスト】を実現します
- ・ 屋根部材板金
- ・ ウレタン注入扉(片開き・折戸・引戸)
- ・ エルボ
- ・ 防水部材
- ・ 精密加工品
- ・ プラスチック成形品、加工品
- ・ 各種溶接、R曲げ
- ・ 表面処理(焼付塗装etc)
- ・ アルミ形材加工etc
- ・ 六面体商品



豊橋工場

仙台工場

1-2 事業活動の概要

(4) 環境管理責任者・事務局

	部門最高責任者	管理責任者	事務局
本社	小松 信幸(兼務)		佐竹 千明
豊橋工場	堀 隆太(兼務)		藤江 康仁
仙台工場	阿部 幸夫	仙石 和広	横山 伸洋

(5) 事業規模 売上高・従業員・床面積

	売上高(百万) 2022.10~2023.9	売上高(百万) 2023.10~2024.9	売上高(百万) 2024.10~2025.9	従業員 数 (人)	床面積 (m ²)
本社	1,474	1,466	1,408	20	697
豊橋工場	235	175	209	30	3,149
仙台工場	355	258	508	40	2,391
合計	2,064	1,899	2,125	90	6,237

(6) 環境経営レポートの対象範囲(=エコアクション21認証・登録範囲)

取組の対象組織： 辻鐵鋼株式会社(本社、豊橋工場、仙台工場の全組織)

取組の対象活動： 鋼板製住宅部材の加工及び販売

(7) 環境経営レポートの公表の方法

環境経営レポートを本社・工場に備え付け一般の方へHP公表します。

環境経営方針をカード化し工場全従業員に携帯させています。

2-1 対象範囲・レポートの対象期間及び発行日

(1) 対象範囲

登録組織： 辻鐵鋼株式会社
対象事業所： 辻鐵鋼株式会社 本社
辻鐵鋼株式会社 豊橋工場
辻鐵鋼株式会社 仙台工場

(2) 環境経営レポートの対象期間

2024年 10月 1日 ~ 2025年 9月 30日(弊社事業年度)

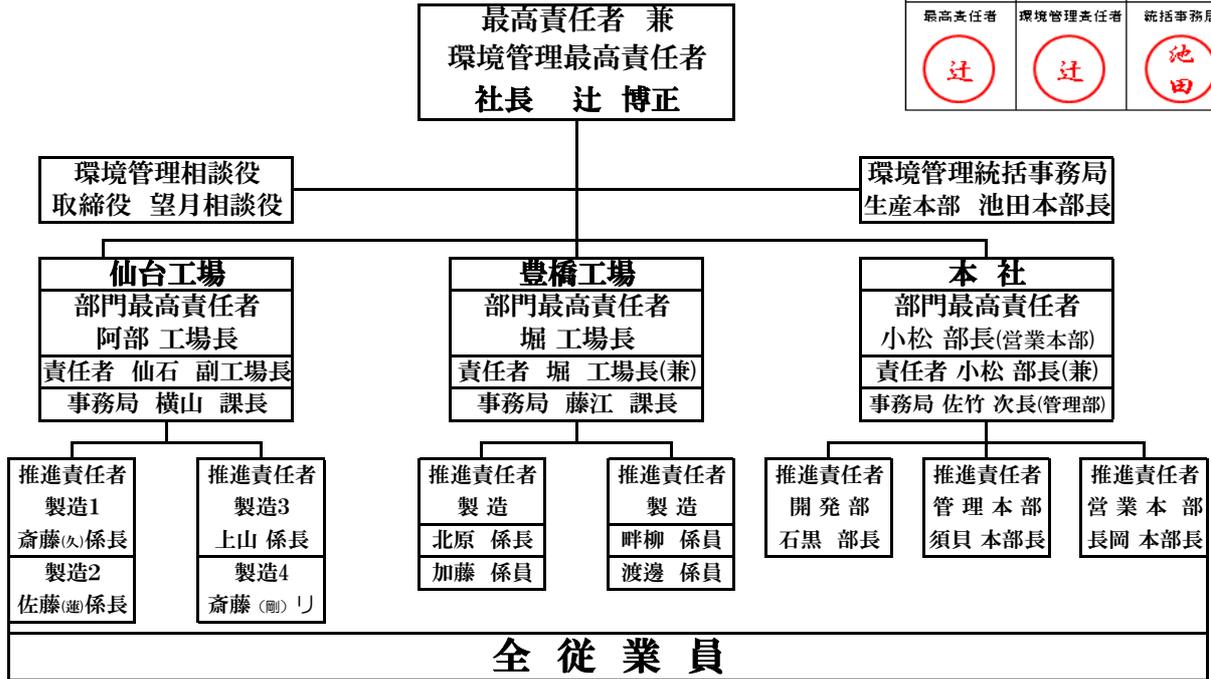
(3) 発行日

2025年 12月 15日

2-2 E A 2 1 推 進 体 制

辻鐵鋼株式会社(全社) 環境管理委員会(運営委員会)組織図

文書類制定日付:2010年 4月 1日		
文書類改訂日付:2025年10月 1日		
承認	確認	作成
最高責任者	環境管理責任者	統括事務局
辻	辻	池田



役割・責任・権限	
最高責任者 兼 環境管理最高責任者 (代表取締役社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、時間、技能者、設備費の用意 ・課題とチャンス明確化 ・環境経営に関する全社の統括責任 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・全体の目標・実施計画の承認及び確認・審査 ・全社の評価と見直しの実施
環境管理相談役 (取締役相談役)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する助言・指導 ・全社目標の設定承認及び確認・指導 ・全社の評価と見直しの指導
環境管理部門 最高責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する自部門の管理 ・部門目標の設定承認及び確認・審査 ・環境活動の取組み結果を環境管理最高責任者へ報告 ・法規制等要求事項登録簿の承認及び確認・審査 ・部門の評価と見直しの実施 ・環境への取組みの自己チェックの実施
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境活動実施計画書の承認・推進管理及び確認・審査 ・従業員に対する教育訓練の定期実施 ・法規制等要求事項の管理
環境管理統括事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する全社の統括管理 ・環境活動実施計画書の考案 ・環境活動実施状況管理(部門の環境活動に関する文書類の収集等) ・環境への負荷の自己チェックの実施 ・法規制等要求事項登録簿の作成
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動実施計画の作成・実績集計・記録及び統括事務局への提供 ・運営委員会の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・法規制等の要求事項の届け出等
環境管理推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部署における環境経営システムの実施 ・自部署における環境経営方針の周知 ・自部署の関連する環境経営目標及び環境活動計画の実施及び達成状況報告 ・自部署の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

3 環境経営方針

(環境経営理念)

当社は社会の一員として地球環境保全が人類共通の課題であることを認識し、経営の最重点課題に位置付け事業活動の全領域で環境保全に配慮し、さらに良好な環境構築の実現の為に自主的・積極的な行動を図り、環境負荷の削減に取り組むことを誓約し、「美しい環境を次世代へと継承」に貢献します。

(行動方針)

当社は、事業活動が環境に何かしらの影響を与えていることを認識した上で、金属製品加工に関する製造技術・品質保証技術を踏まえ、特に、以下の環境保全活動を自主的・積極的・継続的に推進します。

1. 事業活動の領域で、安心・安全を図り、特に省資源・省エネルギー・廃棄物削減環境に配慮した事業活動を実施します。
 - (1) 環境への負荷の自己チェックの結果、各々の項目に対する改善(削減)目標管理を実施し、特に、二酸化炭素排出抑制・廃棄物排出抑制・水使用量抑制について改善目標値を設けて目標管理をします。
 - (2) 総物質投入量の把握に努め、その結果として、使用済み資源の循環的な利用(リユース)を推進し、総物質投入量の削減に努めます。
 - (3) 廃棄物最終処分量の削減に努めます。
2. 化学物質の保管・管理に努めます。
3. 品質管理・3S活動を努めます。
4. 環境に関する法令・条例と、当社が参加した協定や地域・業界などの要求事項を遵守します。
5. 得意先・仕入先に対して「省梱包」・「梱包材の再利用」を積極的に提案し推進します。
6. 自ら生産、販売提供する製品において「エコ関連商品」・「リユース素材」の積極的提案を行います。
7. 環境教育・訓練活動の実施により、全ての従業員に環境経営方針を周知すると共に本活動を当社の体質改善活動の一環と位置付け、持続可能な活動を推進します。
8. 環境経営レポートを公表し、環境経営方針を一般方にも入手できることを保証します。

制定日:2008年 4月 3日
改定日:2009年 10月 1日
改定日:2010年 3月 1日
改定日:2011年 4月 1日
改定日:2015年 3月 31日
改定日:2018年 4月 1日
改定日:2019年 12月 2日

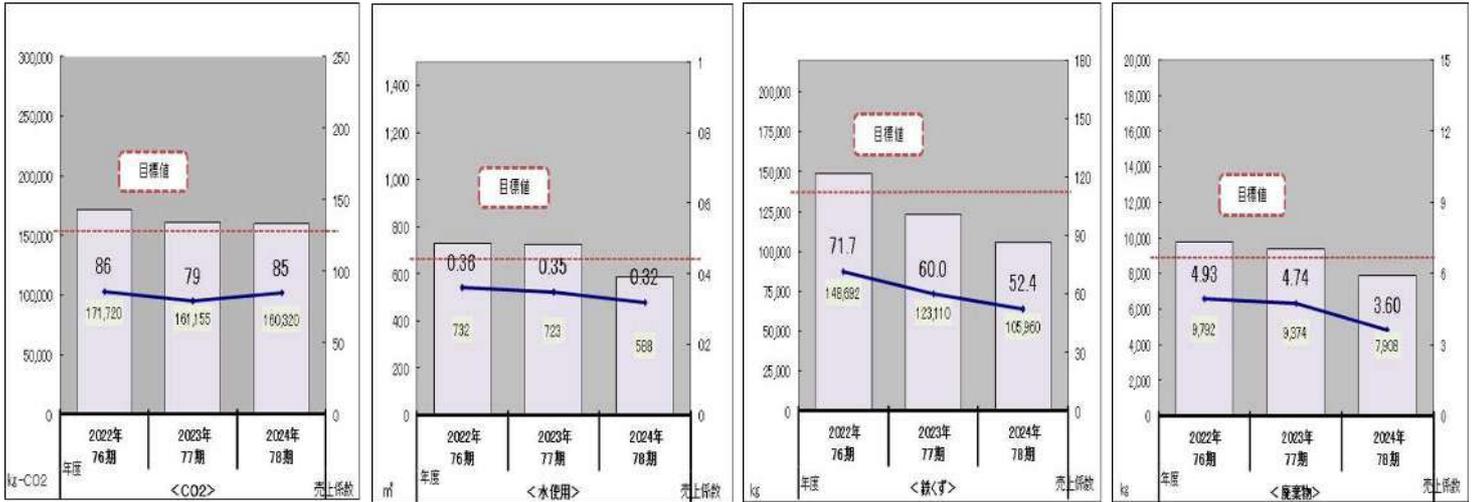
辻鐵鋼株式会社

代表取締役社長 辻 博正

4-1 環境活動実績 (過去3年間)

<全社>

年次			2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	171,720	161,155	160,320
水使用量	上水道使用量	m ³	732	723	588
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	148,692	123,110	105,960
	廃棄物排出量	kg	9,792	9,374	7,908
	段ボール排出量	kg	3,552	3,559	3,792
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満良好	6,000未満良好	6,000未満良好



<本社>

年次			2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	49,524	47,470	46,284
水使用量	上水道使用量	m ³	96	113	120
廃棄物発生量	廃棄物排出量	kg	696	858	708
	段ボール排出量	kg	228	202	228

<豊橋工場>

年次			2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	43,452	39,147	37,764
水使用量	上水道使用量	m ³	408	333	252
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	65,700	54,700	46,704
	廃棄物排出量	kg	5,256	5,063	3,096
	段ボール排出量	kg	648	590	516

<仙台工場>

年次			2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	78,744	74,538	76,272
水使用量	上水道使用量	m ³	228	277	216
廃棄物発生量	鉄くず排出量	kg	82,992	68,410	59,256
	(ウレタンパネル排出量)	kg	4,368	9,374	13,836
	廃棄物排出量	kg	3,840	3,453	4,104
	段ボール排出量	kg	2,676	2,767	3,048
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満良好	6,000未満良好	6,000未満良好

※温室効果ガス排出係数(環境省・経済産業省公表)2023年度調整後排出係数:0.362(本社)・0.446(豊橋)・0.446kg-CO₂/kWh(仙台)

4-2 環境経営目標

◆全社環境負荷低減 3年計画

年次目標(年次)			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	192,720	188,868	185,088
水使用量	上水道使用量	m ³	588	576	552
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	105,960	102,780	99,696
	廃棄物排出量	kg	7,908	7,668	7,440
	段ボール排出量	kg	3,792	3,684	3,564
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満	6,000未満	6,000未満
エコ関連改善	採用件数	件/年	3	4	5

※3年計画は固定式、見直し3年度目:下記との目標差異は各事業所の状況・施策に基づき設定

◆事業所別24年度実績・25年度目標

<本 社>

()内前年比

月次			2024年度実績	2025年度目標
二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	2,548(102%)	2,548(100%)
	軽油使用量	L	658(99%)	658(100%)
	ガソリン使用量	L	481(91%)	495(103%)
	ガス使用量	m ³	4(93%)	4(100%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,857(97%)	3,745(100%)※
水使用量	上下水道使用量	m ³	10(105%)	10(100%)
廃棄物排出量	廃棄物排出量	kg	59(83%)	59(100%)
	段ボール排出量	kg	19(115%)	18(95%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

<豊橋工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	8,357(101%)	8,357(100%)
	軽油使用量	L	70(79%)	74(105%)
	ガソリン使用量	L	76(70%)	76(100%)
	灯油使用量	L	—	—
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	3,147(96%)	4,087(105%)※
水使用量	上下水道使用量	m ³	21(76%)	—
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	3,892(85%)	4,087(105%)
	廃棄物排出量	kg	258(61%)	258(100%)
	段ボール排出量	kg	43(88%)	43(100%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	0	1

<仙台工場>

二酸化炭素 排出量	購入電力使用量	kWh	10,067(99%)	11,073(110%)
	ガソリン使用量	L	7.4(240%)	—
	灯油使用量	L	1,195(106%)	1,314(110%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	6,356(102%)	8,232(110%)※
水使用量	上水道使用量	m ³	18(79%)	20(110%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	4,938(87%)	5,431(110%)
	(ウレタンパネル排出量)	kg	1,153(168%)	1,268(110%)
	廃棄物排出量	kg	342(119%)	376(110%)
	段ボール排出量	kg	254(110%)	279(110%)
化学物質	適正貯蔵量	L	購入管理良好	6,000未満管理
エコ関連改善	採用件数	件/年	145(48%)	1

※温室効果ガス排出係数2025年度より変更(環境省・経済産業省公表)2023年度調整後排出係数:0.362(本社)・0.446(豊橋)・0.446kg-CO₂/kWh(仙台)

5 主な環境経営計画・実績

2025年度 79期(2024.10~2025.09)

文書製作日:2024年10月29日		
文書類評価日:2025年10月28日		
承認	確認	作成
(辻)	(辻)	(池田)

※月次評価日を変更

区分	名称	対象者	目的	内容	部門	頻度	責任者	10月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	備考				
全般	安全/品質/エコ/IS	運営委員 +各当番者 管理責任者	安全維持クレーム ・社内不良E21活動の 継続性維持IS活動	・パトロール公表 (工場内外・漏水・空調関連) ・前月活動成果の分析	本社	1回/3ヶ月 (会議週)	小松 (佐竹)		●			●			●				●					
				・クレーム、社内不良撲滅活動 ・IS、改善、コストダウン活動状況 ・委員からの意見等ヒアリング ・次月度の活動内容出し	豊橋工場	1回/月 (3週目)	堀 (藤江)	●	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	○				
					仙台工場	1回/月 (2週目)	仙石 (横山)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
一般教育	勉強会	全従業員	環境・品質・生産性向上 一般的な環境に対する自覚向上 IS発表会による生産性向上	・前年の活動実績公表 ・今年度の活動目標 内容公表 ・生産性向上効果発表	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年 以上	小松・池田 堀・池田 仙石・池田		●			○			○				○					
一般教育	防災訓練	全従業員	緊急事態発生時適切対応	・緊急時マニュアルに基づく訓練 ・防災用具の取り扱い等 ・漏洩訓練	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	佐竹 堀 阿部				○						○	●						
専門教育	講習会	選任者	安全・技能向上	・クレーン・玉掛け・フォークなど ・環境測定 ・各種研修等	本社 豊橋工場 仙台工場	2回/年 以上	佐竹 堀 仙石		●						○									
定期点検	漏水/パトロール	事務局	環境維持	・消化施設、各配管、手洗い、トイレ等点検(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/月	佐竹 藤江 横山	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●				
	クレーン 年次検査/月次点検	選任者	安全・法規	・点検チェック(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/月	古屋 藤江 横山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
	フォークリフト年次 ◇月次点検○				豊橋工場 仙台工場		藤江 横山	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆				
	プレスの自主検査	選任者	安全維持・法規	・機械の安全動作状況確認等	豊橋工場 仙台工場	1回/年	藤江 阿部		●						●									
	空調機器 簡易点検	事務局	環境維持・法規	・点検チェック(別点検表)	本社 豊橋工場 仙台工場	4回/年	佐竹 藤江 横山	●			●			●			●							
	消火設備・消火器 点検	事務局	安全維持・法規	・機能チェック、有効期限確認等	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年 2回/年	佐竹 藤江 阿部		●				●			●			■					
	エアータンク 自主検査	事務局	安全維持・法規	・器具の機能維持、安全性確認等	豊橋工場 仙台工場	1回/年	藤江 横山						○		●					○				
	浄化槽法定検査	事務担当者	衛生維持・法規	・事務所/寮の衛生検査・対応	豊橋工場	1回/年	坂神														○			
	浄化槽保守点検	事務担当者	衛生維持・法規	・事務所/寮の衛生検査・対応	豊橋工場	1回/月	坂神	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●			
	ボイラー点検	事務局	安全維持	・器具の機能維持、安全性確認等	仙台工場	1回/年	横山														○			
環境測定	事務局	安全衛生維持・法規	・有機溶剤使用箇所の濃度測定	豊橋工場 仙台工場	2回/年	藤江 横山			○							○								
届出	労使協定届け 年間カレンダー提出	管理責任者	安全衛生維持・法規	・労働基準内関連書類提出	本社 豊橋工場 仙台工場	1回/年	佐竹 堀 阿部						●											
	産業廃棄物委託 契約更新 (自動更新)	管理責任者	適正管理維持・法規	・適正業者との廃棄物契約書締結	本社 豊橋工場 仙台工場	自動更新	佐竹 堀 阿部				■													
	産業廃棄物 管理表届出	事務局	適正管理維持・法規	・昨年度排出量提出	豊橋工場 仙台工場	1回/年	坂神 横山										●							
	産廃現地確認	管理責任者	適正管理維持・法規	・契約業者の適正処理確認	豊橋工場	1回/年	堀					○												
	化学物質使用量/管理 表届出	事務局	安全衛生維持・法規	・昨年度使用量提出/購入量管理	仙台工場	1回/年	横山									■					○			
防災訓練/報告書	管理責任者	安全維持	・訓練報告書作成、提出	仙台工場	1回/年	阿部		●																
文書類	活動記録	選任者	ガイドライン要求事項	・環境への負荷の自己チェック (皆さんの成果合)まとめ	本社 豊橋工場 仙台工場	2025年 10/14	佐竹 藤江 横山	●	●	●														
				・環境への取組の自己チェック	本社 豊橋工場 仙台工場	10/20	小松 堀 仙石	●	●	●														
				・資源使用量、総製品生産量/販売量算出	本社 豊橋工場 仙台工場	10/20	長岡・小松 堀 阿部	●	●	●														
				・取組結果とその評価(是正・予防処置等処理記録簿含む)	本社 豊橋工場 仙台工場	4/19 10/20	小松 堀 阿部・阿部	●	●	●														
				・環境コミュニケーション記録簿、 苦情・要望等処理記録票	本社 豊橋工場 仙台工場	10/20	小松 堀 阿部	●	●	●														
				・法規制等一覧表・チェックリスト	本社 豊橋工場 仙台工場	10/20	小松・佐竹 堀・藤江 仙石・横山	●	●	●														
				・代表者による全体評価・見直し	本社	10/24	辻社長	●																
				・目標設定書、活動計画作成、等	本社 豊橋工場 仙台工場	10/27	小松 堀 仙石	●	●	●														
				・活動計画等のまとめ	統括事務局	10/27	辻社長 池田	●																
				・実施体制(組織図)の見直し	統括事務局	10/28	池田	●																
				・環境方針(マニュアル)見直し	統括事務局	10/28	池田	●																
				・緊急事態の準備及び対応推進	統括事務局	10/28	池田	●																
				・各種技能講習者選出・リスト更新	統括事務局	10/28	池田	●																
				・レポートの作成	統括事務局	11/21	池田	○																
				・各部門の記録書類のチェック	統括事務局	1/15	池田							○										
・エコアクション21認証 登録審査	本社	1回/年								申込														

保管:運営事務局

※1 計画:○実績:実施月に●を記す(計画通り実施した場合は計画月の○を●に変更する /部は月変更を示す) 自動更新等:■・年次点検等:◆ ※2 完了日付:月/日を記す

6 環境活動実績

	管理実施項目	単位	2025年度 全社実績				本社実績		豊橋実績		仙台実績	
			(2024 10~2025 09)				月平均	前年比	月平均	前年比	月平均	前年比
			年間	月平均	前年比	評価						
二酸化炭素排出量	電力使用量	kWh	303,396	25,283	109%	△	2,561	101%	9,590	115%	13,132	130%
	軽油使用量	L	5,304	442	61%	○	330	50%	112	160%	/	
	ガソリン使用量	L	6,168	514	89%	○	436	91%	69	92%	9	117%
	灯油使用量	L	17,436	1,453	122%	×	/		—	—	1,453	122%
	ガス使用量	m ³	41	3	92%	○	3	92%	/		/	
	二酸化炭素排出量計	kg-CO ₂	204,228	17,019	112%	×	2,797	75%	4,727	116%	9,495	127%
水使用量	水使用量	m ³	960	80	163%	×	11	112%	26	125%	43	232%
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	122,376	10,198	115%	△	/		3,761	97%	6,437	130%
	廃棄物排出量	kg	11,208	934	142%	×	79	134%	281	109%	574	168%
	(ウレタンパネル排出量) 【仙台工場のみ】	kg	7,932	661	57%	○	/		/		661	57%
	段ボール排出量	kg	4,224	352	111%	△	19	100%	41	94%	292	115%
化学物質貯蔵量管理(仙台工場のみ)	適正貯蔵量	L	6,000未満 管理良好			○	/		/		6,000未満 管理良好	

エコ改善関連	エコ改善関連採用件数	実績名称	実施時期	実績	備考
		・仙台 製品ラック養生材再利用化	2025 4	・廃棄物排出量削減	
		・豊橋 長期在庫材の他製品化(補強材)	2024 10	・廃棄物排出量削減	
		・本社/仙台 空調効率UPサーキュレーター化	2024 10	・電気使用量削減	

※温室効果ガス排出係数2025年度より変更(環境省・経済産業省公表)2023年度調整後排出係数0.362(本社)・0.446(豊橋)・0.446kg-CO₂/kWh(仙台)

◇評価:目標に対し○達成・△10%以内未達・×10%以上未達

7-1 環境経営計画の取組結果とその評価(本社)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

本社管理責任者記入

文書類作成日: 2024年10月30日		
文書類作成日: 2025年10月24日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	

※化石燃料: ガソリン・軽油・灯油・ガス使用量計

環境目標		取組結果及び評価				
		進捗	上期 10~3月	進捗	下期/通期 ~9月	
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理	○	上期実績: 94%	○	下期実績: 107%、通期実績: 101%
		②空調温度管理(暖房: 24℃ 冷房28℃)		屋休時を含め、照明等の積極的な消灯活動も定着		照明消灯活動は、定着し 効果ありと判断。
		③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF		このまま活動を継続		酷暑によるAC使用率が、定期的に高まってしまった。
		④就業時ブレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る				
		⑤空調機器の簡易点検				
	化石燃料使用量	①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進	△	(ガソリン): 145%	○	(ガソリン使用量)通期実績: 91%
	②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける		ガソリン使用量については、営業強化に伴う顧客訪問、出張等も増加した事も要因。経過観察の上、対応検討			
	③湯沸かし器は出来るだけ10~4月使用&電気給湯類使用促進					

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

全体的には、概ね良好の結果と判断。下記については、来期への継続テーマとして検討の上、推進していく。
 ・購入電力使用量: (夏季)酷暑対策への対応と推進方法。→AC使用に於ける ルール見直し(温度管理/使用時間 など)、クールビズの推進。
 ・化石燃料使用量: 公共機関の使用推進。

水使用量抑制	水使用量	①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない	△	上期実績: 112%	△	下期実績: 112%、通期実績: 112%
		②水漏れを発見したら所属長へ連絡~修理手配		使用に関する活動は継続しているものの、僅かながら増加している。経過観察の上、対応を検討		上期との大きく変化はないものの、増加傾向。
		③漏水パトロール実施				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

通期での大きな変化は見られないものの増加傾向と判断。(前期も僅かながら、増加)傾向と要因分析の上、対策を検討しつつ 目標値設定についても適正見直しを実施。

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック)	×	(本社改築)IF倉庫業務 縮小に伴う 整理(廃棄)の影響もあり、特に1月度の数値となったと思われる 下期以降の数値を見守る。	×	(一般廃棄物)下期実績: 128%、通期実績: 134% 上期比では 減少したが、目標値に大きく未達。
		②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う				
		③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する				
		④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

前期(78期)比として、ダンボール廃棄量は一定効果が見られたが、一般廃棄物排出量が大きく増加した結果であった。廃棄月に傾向がみられる(3~4月に1度)感もあるので、要因分析を行い来期の重点課題として活動を推進していく。

省資源(グリーン購入含む)	①作業指示書・両面コピー紙の回収~分別処理を行う	○	継続活動を推進	○	活動として良好。継続推進。
	②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

活動も定着化しており、概ね良好と判断。継続活動の推進を図る。

環境配慮型製品・資材省梱包・リユース 品採用推進	新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する	○	継続活動を推進	○	活動として良好。継続推進。
	梱包資材のリユース化推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

活動も定着化しており、概ね良好と判断。継続活動の推進を図る。
 ※一部 取引先への 資材リユース化の徹底もアピール。

エコ関連改善(業務・IS・提案より)	活動状況	△	本社提案が低調。推進方法を早急に検討の上、定着を目指す	△	本社提案活動に於いて、全体的な浸透度合いが低い
	改善後の継続状況等				
	改善提案状況				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

各役員への 提案活動の推進がされていない傾向がある。提案制度の重要性をアピールし、全体的な活動の底上げを来期は図る。

是正・予防処置等処理記録簿	—	該当事項なし	—	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	全体的な活動としては、活動の重要性も理解して推進できている感じはあるものの テーマにより温度差が見られるものがある。 重要課題と一般課題とメリハリをつけて活動を推進していく必要があると判断。マンネリ化を防止し、来期の活動テーマを検討し 推進を図る。
-----------------------------	---

※進捗の評価: ○良好・△一部未達・×未達

7-2 環境経営計画の取組結果とその評価(豊橋)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

豊橋管理責任者記入

文書類作成日付:2024年10月30日		
文書類更新日付:2025年10月16日		
承認 部門最高責任者	確認 環境管理責任者	作成

※化石燃料:ガソリン・軽油・灯油・ガス使用量計

環境目標	施策	取組結果及び評価			
		進捗	上期 10~3月	進捗	下期/通期 ~9月
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	×	目標100%→前年度比126% デマンド監視、起動電力の削減施策は継続 残暑の影響とクーラー増設の影響で10月は増加 また仕事量増加・残業増加により全体的に目標値をオーバー	△	目標 100% 実績 115% 生産量増加により、前年比115%となった。ただし生産量は前年比120%となっており、売上比では96%と良好な結果となった。
	①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理				
②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃)					
③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF					
④就業時ブレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る					
⑤空調機器の簡易点検					
化石燃料使用量	①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進	×	目標102.5%→前年度比134% 仕事量増加によりフォーク使用増加で目標未達 またガソリンフォークの不調により軽油使用量	△	ガソリンフォークリフトを軽油のフォークに更新した為軽油使用量が増加しガソリンの使用量は減少した。また顧客や外注先への営業活動により社用車のガソリン使用量は増加
②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける					
③湯沸かし器は出来るだけ10~4月使用&電気給湯器使用促進					

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点

・今期は工場の残りの箇所と事務所の照明のLED化を行った。ただ製品生産量が前年比120%となっており、それに伴い購入電力量、化石燃料使用量は増加している。また熱中症対策、職場環境の改善、猛暑の影響などでエアコンも使用しており夏場の購入電力量は増加傾向になっている。
来期は業務のへ平準化に取り組み、残業時間を減らして、電気使用量を削減したい。

水使用量抑制	水使用量	×	目標105%→前年度比:120% 漏水/パトロールは継続実施中。従業員増加により使用量が増加し目標に未達	△	目標 105% 実績 125% 生産量増加により水道使用量も増加。 売上比では106%
	①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない				
	②水漏れを発見したら所属長へ連絡~修理手配				
	③漏水パトロール実施				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

・昨年の従業員数24名に対し、今年は29名となり5名増員しているため水道使用量は増加してしまった。また残業等で工場の稼働時間も長くなっており、それも水道使用量にはつながっている。
来期は節水器具等の導入も検討したい

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	○	①朝礼などでも注意喚起をして分別活動を推進 ②月一回の運営委員会で実施 ③④継続中	○	鉄くず量=目標105% 実績97% 売上比81% 段ボール=目標100% 実績94% 売上比80% 一般廃棄物=目標100% 実績109% 売上比79%
	①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック)				
	②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う				
	③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する				
	④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

・各施策等により廃棄物排出量は概ね良好な結果となった。今後も歩留りの改善、ペーパーレス化、エコデザイン品の購入等でさらなる削減に努めたい

省資源(グリーン購入含む)	①作業指示書・両面コピー紙の回収~分別処理を行う	○	①②施策継続実施中	○	①②施策継続実施中
	②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

・来期も引き続き継続して行く

環境配慮型製品・資材省梱包・リユース品採用推進	新商品開発時・材料見直し時積極的に検討する	○	緩衝材としてのダンボール/養生材の再利用、断熱材通い箱納入の継続	○	梱包資材の再利用推進
	梱包資材のリユース化推進				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

・来期も引き続き活動は継続したい。また今後は過剰包装を廃止・長寿命/再利用可能な製品の購入等も推進したい。

エコ関連改善(業務・IS・提案より)	活動状況	×	社内改善提案制度なども活用して施策継続中	×	IS活動停止中
	改善後の継続状況等				
	改善提案状況				

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

・中堅社員の退職等や生産数増加により改善等の活動が停止してしまっている。今後は少しずつ教育等を進め、改善活動再開を行いたい

是正・予防処置等処理記録簿	—	該当事項なし	—	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	今期はツーユー製品の生産量が前年比120%と大きく増加した。従業員も5名増員しており、電力量や水道使用量が増加した結果となった。さらに来季は150%の売り上げ増加を見込んでいる。電力量やCO2排出量の増加が予想されるが、環境負荷の増加を最小限に抑えるべく各種対策を強化していきたい。
-----------------------------	---

※進捗の評価:○良好・△一部未達・×未達

7-3 環境経営計画の取組結果とその評価(仙台)

- ・全社の 年度環境経営計画(取組事項)
- ・取組結果とその評価
- ・次年度の取組重点事項

文書類作成日:2024年10月30日		
文書類作成日:2025年10月17日		
承認	確認	作成
部門最高責任者	環境管理責任者	

仙台管理責任者記入

※化石燃料・ガソリン・軽油・灯油・ガス使用量計

環境目標	取組結果及び評価	取組結果及び評価		
		進捗	進捗	
二酸化炭素排出量抑制	購入電力使用量	<ul style="list-style-type: none"> ①未使用時の照明消灯の徹底 デマンド監視装置の管理 ②空調温度管理(暖房:24℃ 冷房28℃) ③機械・倉庫を離れる時は必ず動力モーター・照明OFF ④就業時ブレーカーをOFFにしても支障ない設備は切る ⑤空調機器の簡易点検 	<ul style="list-style-type: none"> 購入電力量目標110%に対し119%で未達 ①照明消灯・デマンド管理は実施 ②暖房24℃基本 寒暖の差により調整有り ③継続中 ④継続中 ⑤継続中 ①～⑤運営委員会で周知徹底 生産増に伴い全体的に工場稼働が増えた為 	<ul style="list-style-type: none"> 目標110%に対し130%で未達 ①照明消灯・デマンド管理は実施 ②暖房24℃基本 寒暖の差により調整有り ③継続中 ④継続中 ⑤継続中 生産増に伴い全体的に工場稼働が増えた為 スポットクーラー等購入電気使用量に影響
	化石燃料使用量	<ul style="list-style-type: none"> ①社用車の私用・帰宅などで使わない&エコ運転推進 ②昼休み出来るだけ食堂などを使用して器具の単独使用を避ける ③湯沸かし器は出来るだけ10~4月使用&電気給湯類使用促進 	<ul style="list-style-type: none"> 灯油使用量目標110%に対し128%で未達 ①②③継続中 生産増に伴い全体的に工場稼働が増えた為 ジェットヒーター購入で灯油使用量増 	<ul style="list-style-type: none"> 生産増により注入回数が増え目標110%に対し122%で未達

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

電力・化石燃料の使用量が生産増の為に目標達成出来なかった。冬季では部材を温める製品が増加し電気・灯油等のエネルギーがどうしても必要だった。又 夏季で気温の高温化が続き作業者の熱中症対策等でスポットクーラー等の増設と増産による機械稼働増での電気とホットプレスの使用回数が増え、灯油も使用増となった。次年度は今季よりも生産性を上げエネルギー使用量を減らしたい。

水使用量抑制	水使用量	<ul style="list-style-type: none"> ①手洗い、食器洗い時 水を出しっ放しにしない ②水漏れを発見したら所属長へ連絡～修理手配 ③漏水パトロール実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①②③継続中 目標110%に対し310%大きく未達 原因は漏水 運営委員会にて周知徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 目標105%に対し232% 上期より漏水復旧工事完了で多少挽回したが、大きく未達
--------	------	---	--	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

老朽化が原因で、工場南側地下の配管ジョイント部分から漏水が発覚し、修理をしたが原因究明まで時間が掛かり漏水量が多くなり、結果の使用量が増加し目標達成出来なかった。次年度は目標達成をしたい。

廃棄物の抑制	産業廃棄物排出量	<ul style="list-style-type: none"> ①分別の維持(表示が剥がれたり・紛失時再表示)・推進(分別チェック) ②不具合集計・統計を取り削減活動を月次で行う ③納入パレット・容器のリサイクル化を推進する ④廃棄物保管場所がいっぱいになったら処分する 	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物関係は全て未達 ①表示物は都度交換実施中 ②運営委員会を月1回継続中 ③極力リサイクル化を継続中。 ④協力会社へパレット引取依頼。 ⑤継続中 生産増に伴い全体的に工場稼働が増えた為 	<ul style="list-style-type: none"> 鉄端子129%未達。 鉄不良164%未達。 産廃168%未達 生産量増により全てが未達 未使用品の廃棄など
--------	----------	--	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

増産の中で重量の重い製品がかなり増えた為に注文に対して材料切断後の端材や社内不良などが発生すると重量かなり増えてしまい目標達成出来なかった。次年度は同じ製品を継続生産して行くので、端材は仕方がないが、社内不良を極力減らす事で、今期より排出量を減らしたい。

省資源(グリーン購入含む)	<ul style="list-style-type: none"> ①作業指示書・両面コピー紙の回収～分別処理を行う ②資料枚数の削減 白黒再生紙コピー&プロジェクター推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①継続中 ②継続中 	<ul style="list-style-type: none"> ①継続中 ②継続中
---------------	---	--	--

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

社内では出来るだけ片面印刷した用紙は再利用し、その後 再生紙として業者さんに引き取っていただいている。次年度もコピー用紙だけでなく、お客様の都合で仕様が変更になった製品に付属している部品・梱包資材等を細目に外し再利用出来し省資源に貢献出来るようにする。

環境配慮型製品・資材省梱包・リユース品採用推進	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発時・材料見直し積極的に検討する 梱包資材のリユース化推進 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発時に極力工数削減出来る様に技術部に提案実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品開発時に極力工数削減出来る様に技術部に提案実施。
-------------------------	--	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

梱包時の省梱包化を一部したが、その部分で不都合があったので元にもどしたが、次年度はもう一度材料を見直し省梱包をしたい。

エコ関連改善(業務・IS・提案より)	<ul style="list-style-type: none"> 活動状況 改善後の継続状況等 改善提案状況 	<ul style="list-style-type: none"> IS活動発表会 年4回継続中。2回目4/25開催<活動状況> 社内改善提案継続中 社内改善提案7件 	<ul style="list-style-type: none"> IS活動最終発表会10月開催予定 改善提案状況は改善提案は出ているが以前より減っている。
--------------------	---	---	---

環境管理部門最高責任者のコメント・評価【通期終了後の総評/次年度の是正・取組重点内容】

個人改善提案とIS改善(社内工程別)の両方あるが、生産増の為に改善提案件数が減ってきている。次年度は今年度以上に提案件数が上げられる様に意識を上げたい。

是正・予防処置等処理記録簿	—	該当事項なし	—	該当事項なし
---------------	---	--------	---	--------

環境管理部門最高責任者のコメント・総評・次年度へ向けて	<p>79期は生産増の為、電気使用量は増加したが近年の異常気象での地球沸騰化現象で夏が物凄く暑く、作業員の身体を考えるとスポットクーラー等を増設し電気使用量も増加した。水道使用量は工場外地下の配管が経年劣化と積み重なる地震などで漏水があり、原因追及まで時間が掛かり使用料が増加していったのと、増産で養生材洗浄量が増加した為増えてしまった。廃棄物で鋼材の端材や社内不良等は生産量増産と比例し増加と思われる、79期は通常t=0.3材使用製品が主流ですが、t=0.8材製品の注文が増加し重量が増加したと考えます。</p> <p>80期も生産量がまだはつきりしてませんが、79期より使用量を下げる目標にしたいと考えています。</p>
-----------------------------	--

※進捗の評価:○良好・△一部未達・×未達

8 環境関連法規への違反・訴訟の有無

(1) 適用される主な環境関連法規等

主な適用法規	要求事項	遵守状況
消防法 自治体火災予防条例	危険物の保管基準遵守、消防設備点検、避難訓練	遵守
労働安全衛生法	健康診断受診推進、各技能講習受審推進、法定自主点検遵守	遵守
労働施策総合推進法	職場における「パワーハラスメント」	遵守
有機則・特化則	作業主任者選任、作業環境測定、掲示、特殊健康診断、記録保管、漏えい防止の管理	遵守
廃棄物処理法	廃棄物の保管基準、委託基準の厳守、マニフェストの適正運用管理	遵守
廃棄物処理法 東京都廃棄物条例 愛知県廃棄物適正処理促進条例 宮城県産業廃棄物適正化条例	廃棄物管理者責任者の設置、委託先の産廃の収集・運搬資格、書面による委託契約、処分能力状況確認、確認記録の保持、管理票交付者の知事への報告の義務、等	遵守
下水道法	排除基準の遵守	遵守
フロン排出抑制法	冷媒の適正管理、簡易点検（7.5kw以下）廃棄時管理	遵守
P R T R法	排出・移動量の管理遵守	遵守
家電リサイクル法	廃棄時の適正な引渡し	遵守
小型家電リサイクル法	分別して認定業者へ適正な引渡し	遵守
自動車リサイクル法	廃棄車両の引取業者へ適正な引渡し	遵守
道路交通法	運転管理者設置、運転日報、アルコールチェック、記録の保持	遵守

(2) 違反・訴訟の有無

当事業所に適応される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。
尚、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありません。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年に引き続き、製造会社として、SDG'sの目標12のつくる責任に焦点をあてて、地球環境への配慮と、会社としての利益をバランスよく事業展開していくと考えながら対応ができたことに感謝する。

今期は、特に、特定客先(ユニオン)の青海タワーマンション向けエネボックス案件が、競合他社の機械故障によりかなりの負荷が仙台工場にかかり、仕事量が増え毎週土曜日が出勤日になったが、本社からの応援と、本社のエコ担当者と仙台工場の幹部達がうまく連携してくれて、常にエコにも気を使いつつ仕事量の増加対応もしてくれたことが、良い結果に繋がったと思う。

次年度についても、引き続き、SDG'sの目標12のつくる責任に焦点を当てて、地球環境への配慮と、会社としての利益をバランスよく事業展開していければと思います。その意味でも、引き続き、本社のエコ担当者を中心に、全社でエコ活動を活発に行い、社員全員に対して、SDG'sの基本コンセプトを徹底して工場も、本社もしっかりと対応していきたいと思っています。勿論、企業としては、収益を上げることと、エコ活動を活発化することを、バランス良くやることも、企業存続の為には必要であるので、全社で良く議論をしながら、良い方向に進めていけたらと考えています。そうすることで、環境対応をちゃんとしている企業として、取引先の会社からも、評価を得ることで、取引先との良好な関係が築けるのではないかと考えております。尚、環境経営方針、目標、計画、実施体制等については、継続とします。

2025年10月23日

辻 鐵鋼株式会社

代表取締役社長 辻 博正

10 次年度以降環境経営目標

◆ 全社環境負荷低減 3年計画

年次目標 (年次)			2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	192,720	188,868	185,088
水使用量	上水道使用量	m ³	588	576	522
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	105,960	102,780	99,696
	廃棄物排出量	kg	7,908	7,668	7,440
	段ボール排出量	kg	3,792	3,684	3,564
化学物質	適正貯蔵量	L	6,000未満	6,000未満	6,000未満
エコ関連改善	採用件数	件/年	3	4	5

※1:3年計画は固定式、見直し3年度目:下記との目標差異は各事業所の状況・施策に基づき設定

◆ 事業所別24年度実績・25年度目標

<本 社>

()内前年比

月次			2025年度実績	2026年度目標
二酸化炭素排出量	購入電力使用量	kWh	2,561	2,561 (100%)
	軽油使用量	L	330	—
	ガソリン使用量	L	436	445 (103%)
	ガス使用量	m ³	3	—
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2,797	2,797 (100%)※2
水使用量	上下水道使用量	m ³	11	10.5 (95%)
廃棄物排出量	廃棄物排出量	kg	79	71.3 (90%)
	段ボール排出量	kg	19	18 (93%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

<豊橋工場>

二酸化炭素排出量	購入電力使用量	kWh	9,590	12,467 (140%)
	軽油使用量	L	112	197 (176%)
	ガソリン使用量	L	69	33 (48%)
	灯油使用量	L	—	—
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,727	6,145 (130%)※2
水使用量	上下水道使用量	m ³	26	29 (110%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	3,761	4,889 (130%)
	廃棄物排出量	kg	281	320 (110%)
	段ボール排出量	kg	41	45 (110%)
エコ関連改善	採用件数	件/年	1	1

<仙台工場>

二酸化炭素排出量	購入電力使用量	kWh	13,132	13,776 (105%)
	ガソリン使用量	L	9	—
	灯油使用量	L	1,453	1,307 (90%)
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	9,495	9,495 (100%)※2
水使用量	上水道使用量	m ³	43	30 (70%)
廃棄物排出量	鉄くず排出量	kg	6,437	5,793 (90%)
	(ウレタンパネル排出量)	kg	661	—
	廃棄物排出量	kg	574	516 (90%)
	段ボール排出量	kg	292	—
化学物質	適正貯蔵量	L	購入管理良好	6,000未満管理
エコ関連改善	採用件数	件/年	2	1

※2:電気事業者別排出係数変更2025年度より変更(東京ガス:0.406→0.362/日本テクノ:0.334→0.446Kg-Co2/kwh)